

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年12月1日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年12月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【非常用窒素ガス分離装置空気圧縮機(B)のホース外れについて】 当社運転員が、「待機」中の非常用窒素ガス分離装置の定例試験において、試験終了後の復旧操作を実施していたところ、ガス分離装置に空気を供給している空気圧縮機(B)との接続ホースが外れ、空気が供給ができない状態となった。</p> <p>既に、空気圧縮機(A)については、冷却水温度計の故障(11月22日不適合公表)により使用出来ない状態であることから、非常用窒素ガス分離装置は運転不可と判断し、「待機」から「非待機」とした。</p> <p>窒素ガス分離装置については、(A)、(C)の2台が運転中であり、このうち窒素ガス分離装置(A)はディーゼル発電機により運転が可能ことから、「待機」系統も維持できているため、運転上の制限は満足している。</p> <p>また、1～3号機への窒素封入量及び封入圧力に異常はない。</p> <p>なお、ホースの再接続及びホース架台の固定を実施し、確認運転にて異常なしを確認できたことから、現在は「非待機」から「待機」に復帰している。</p>	G II	11月28日